

編集後記

日本機械学会 技術と社会部門 ニュースレターNo.40の発行にあたり

第97期の広報委員会委員長をさせていただいております福山大学の関根でございます。

技術というものは、社会が求めるニーズに応えるかたちで少しずつ進歩してきたものであり、ある技術が誕生し、進化していく歴史と、その背景にある社会的ニーズの関係を理解することは、未来に必要とされる新しい技術を思い描いていく上で、とても大切なことと存じます。今号では、2019年度年次大会で開催された「産業考古学」や「戦後の技術史を語る」といった、技術の歴史に係わるワークショップの報告、および「古代中国の“火箭”から現代のロケットまでの歴史」の講演と「モデルロケットの製作・打ち上げ体験教室」についてのワークショップの報告を掲載いただきました。また、国産の機関車として初めて特急列車を牽引し、国内の鉄道的高速化に貢献した、C51形蒸気機関車も、鉄道の技術史にとって、重要な位置付けにある機関車と思います。このような技術史に係わる話題については、これからも読者の皆様にご紹介していきたいと考えております。

高専&カレッジ巡りでは、第3弾として「一関工業高等専門学校」を紹介させていただきました。一関工業高専につきましても、学生の特異な才能を発掘し、学生の自覚のもとに秀でた能力を持つ技術者を育成するといった、高専ならではの“魅力的な”人財育成教育に取り組んでいることを、ご紹介させていただきました。

最後に、技術と社会部門では、技術と社会の係り合いを基軸とした、出来るだけ魅力的な内容のニュースレターを発信していきたいと考えております。今後共、何卒宜しく願い申し上げます。

2019 年度広報委員会委員長 関根 康史（福山大学）。

発行： 一般社団法人 日本機械学会
The Japan Society of Mechanical Engineers
技術と社会部門
部門長 筒井 壽博 (弓削商船高等専門学校)
事務担当 井上 理

2019年11月1日発行
ISSN 2185-3177

編集： 第97期 広報委員会
委員長： 関根 康史 (福山大学)
幹事： 大根田浩久 (弓削商船高等専門学校)
委員： 筒井 壽博 (弓削商船高等専門学校)
高藤 圭一郎 (西日本工業大学)
滝谷 俊夫 (Hitz 日立造船)
小宮 聖司 (神奈川工科大)
加藤 義隆 (大分大学)
吉田 敬介 (九州大学)

日本機械学会技術と社会部門ニュースター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースターNo.40

(C)著作権:2019 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門